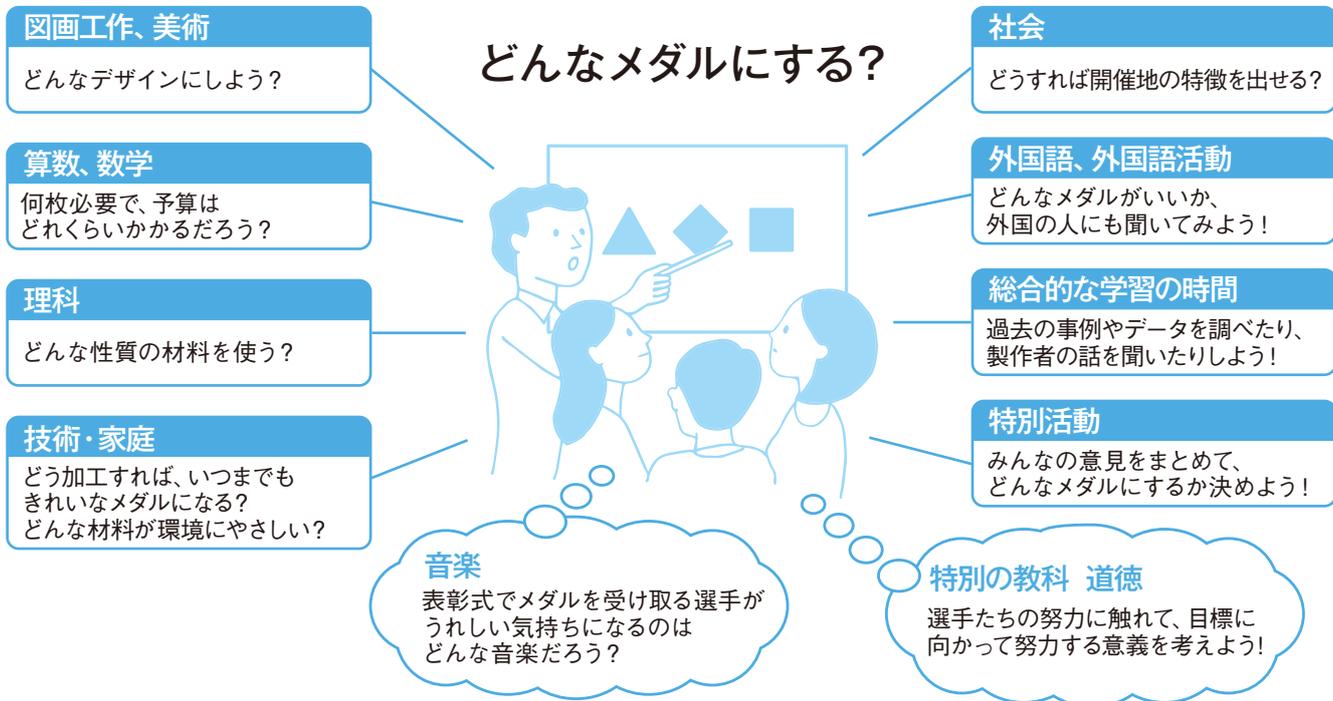


オリンピック・パラリンピックのメダルをつくるなら

新しい学習指導要領では、社会に出てからも学んだことを生かせるような学校教育を目指します。
各教科等を通じて得た力は、将来どのように生かされるのでしょうか？
「オリンピック・パラリンピックのメダルづくり」というテーマで例を示してみました。



国語 このような話し合いや説明資料の作成にも、国語を要とする全ての教科等の学び（言語活動）が生かされています。

実際のオリンピック・パラリンピックのメダルにも、各教科等を通じて得た力が生かされています。

2012年
ロンドン（英国）開催
ロンドンを流れるテムズ川をモチーフにした曲線を施したメダル

1998年
長野（日本）開催
日本の伝統技術や文化を生かした漆、蒔絵、七宝のメダル

2016年
リオデジャネイロ（ブラジル）開催
視覚障害者に配慮し金銀銅で異なる音の鳴るメダル（パラリンピック）

学校での学びを活用してメダルをつくってみよう

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、
使用済み携帯電話など小型家電から抽出したリサイクル金属で製作する予定です。

文部科学省
TOKYO 2020
TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES
日本国政府

